

外務省海外安全情報（感染症危険情報：抜粋）

エムポックスに関する感染症危険情報（レベル1）の発出

（コンゴ民主共和国、ブルンジ、ケニア、ルワンダ、ウガンダ、コンゴ共和国、中央アフリカ共和国）

発出日：2024年08月15日（新規）

〔全土〕 コンゴ民主共和国、ブルンジ、ケニア、ルワンダ、ウ ガンダ、コンゴ共和国、中央アフリカ共和国	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（新規） その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため 特別な注意が必要です。
--	--

【詳細】

(1) エムポックスの感染拡大が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」に該当する旨を宣言しました。

○ 8月14日付 WHO 緊急委員会後の PHEIC 宣言に関するプレスリリース（英文）

<https://www.who.int/news/item/14-08-2024-who-director-general-declares-mpox-outbreak-a-public-health-emergency-of-international-concern>

(2) 同事務局長は、コンゴ民主共和国東部及び近隣諸国において、2022年に始まったエムポックスの世界的な流行の原因となったクレード2よりも重篤な症状を引き起こすとされるクレード1が急速に拡大している他、クレード1bという新しい株が検出されていることは、特に懸念されるものであり、これが PHEIC の宣言に至った主な理由の一つであると述べています。2020年2月10日までに3,431例が報告され、うち3,308例が確定例、123例が可能性が高い例であり、死亡例2,253例が報告されている。

残りの課題は、戦略的健康チェックポイントにおける人員保護、医療施設における感染予防及び管理業務の改善、地方における保健システムの強化、回復中の患者に対する包括的な治療とサポート等。

(3) WHOによれば、コンゴ民主共和国では10年以上にわたりエムポックスの感染症例が報告されていますが、昨年、その件数が大幅に増加し、さらに今年は既に昨年を超える15,600件以上の感染症例と537人の死者が報告されています。また、同国の周辺国である、ブルンジ、ケニア、ルワンダ、ウガンダ、コンゴ共和国、中央アフリカ共和国においても、クレード1の症例が報告されています。

(4) これらの状況を踏まえ、コンゴ民主共和国、ブルンジ、ケニア、ルワンダ、ウガンダ、コンゴ共和国、中央アフリカ共和国に対し、エムポックスに関する感染症危険情報レベル1（十分注意してください）を発出します。国民の皆様におかれては、上記の状況を踏まえた対応を御検討ください。外務省としては引き続き、海外安全ホームページや領事メールを通じて海外渡航者及び現地在留邦人に対して適時適切な情報発信・注意喚起を行ってまいります。

（参考）

○厚生労働省ホームページ「エムポックスについて」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html

○厚生労働省検疫所（FORTH）

https://www.forth.go.jp/news/20220521_00001.html

○国立感染症研究所

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/12052-mpox-intro.html>

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903

外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306

外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047

までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル1〕「十分注意して下さい」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。